

非核・いしかわ

事務局／石川民医連労働組合気付
〒920-0848 金沢市京町 28-8 TEL076-251-0014
郵便振替口座 00760-0-15689 会報込年会費 3000 円

非核五項目

- ① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

1面	2015年国民平和進行の報告	内藤晴一郎	5面	「違憲」の安保法案 強行採決に強く抗議する		7面	コスモス畑の小さな駅 閉塞前線	高橋はるみ
2面	県内通し行進に挑戦	野村かよ子	6面	会員リレーエッセイ 相沢まり子		8面	被爆者が描いた体験画展 絵手紙コーナー	喜多村貢 中田喜重 広瀬勝子
3面	全国通し行進者のメッセージ 市民公開時局講演会	西田重好 森 英樹		2015年原水爆禁止世界大会の開催案内 非核石川の会からの代表派遣募金の訴え				
4面	全国の会第30回総会の報告	神田順一						

原水爆禁止国民平和進行

自治体のご協力を

いただき大成功

内藤晴一郎

今年の平和行進は、六月七日「まれ」効果で賑わう輪島市の朝市通りから開始し、核兵器廃絶、原発ゼロ、戦争法案反対を訴えながら行進しました。今年も行進中に朝市のおばさんが次々と署名を届けてくれました。中能登町では、行進当日に「非核・平和宣言塔」を設置し、ハナミズキの記念植樹の鉢入れ式に参加させていただきました。



小松市内の平和行進参加者

(6月21日 多太神社前にて)

一三日には県境の九折で富山県行進団から引き継ぎをしました。津幡町では、課長さんはじめ九人の職員に迎えていただき、多くの署名と募金をいただきました。

金沢市の城北病院・クリニックでは、一五〇人の職員に迎えていただき、青年の司会で集会が運営されました。夕方方のいしかわ四高記念公園の出発集会には二三〇人の参加があり、出前うたごえの人たちと「青い空は」など三曲を歌い、有松まで行進しました。川北町では行進団を応接室に迎えていただき、副町長さんの激励を受け、懇談ができました。

能美市役所では、四〇人の職員が参加され、募金、署名をいただき、激励を受けました。寺井病院では、七〇人の職員の歓迎集会があり、ギター伴奏による「折り鶴」の大合唱で迎えていただきました。

小松市では、行進アナウンスとシュプレヒコールを繰り返し、元気に行進しました。二四日、吉崎御坊で福井県行進団に引き継ぎました。

今年の平和行進の特徴

第一に、今年も全自治体を行進することが出来たことです。
第二に、殆どの自治体からペナント

花鳥風月

今年の「平和事業に関する自治体アンケート結果」で特筆されるのは、中能登町が被爆七〇年折念事業として県木アテを使った宣言塔「非核・平和宣言

の町」を新設することと白山市が平和首長会議に加盟し、長崎原爆資料館から被災資料を借りて「長崎 戦争・原爆被災展」を開催することです▼筆者は二年前に原水爆禁止国民平和進行の「県内通し行進」を体験しました。今年も「平和事業アンケート結果」を各自自治体総務課長等に直接手渡すことも含めて、六月七日輪島市役所から、二四日加賀市役所へ福井県境・吉崎までの平和行進には、毎日参加しました▼中能登町の到着歓迎集会では、杉本栄蔵町長から激励挨拶とともに行進団が到着した日に非核宣言塔が設置され、町長、議長とともに行進団責任者がハナミズキの記念植樹を鉢入れしました。また白山市の出発集会では、「長崎 戦争・原爆被災展」の案内チラシも提供いただきました▼このような平和行進の参加報告を毎日HP (http://hikakuishikawa.com/) に投稿したことにより、各自自治体の対応や県内行進の様子がリアルにわかるとHPへのアクセス件数が急増し、会の存在と活動を大きくアピールできました。(か)



**非核の政府を求める石川の会・団体旗を掲げて、平和
行進に参加しました** (6月24日 加賀市内)

と、メッセージや激励のことばを頂いたことです。市長・町長・議長さんはじめ自治体の職員一八五人が歓迎集会や出発集会に参加されました。

第三に、各地の平和行進実行委員会がコースの選定、人集め、盛り上げる工夫等をされました。

第四に、行進団の呼びかけに沿道の人を手を振って応え、募金・署名・折り鶴などを届けていただきました。

第五に、北陸中日新聞、北國新聞、しんぶん赤旗の取材があり、報道していただきました。

第六に、平和集会在卯辰山の「平和の子等」像前、城北病院、寺井病院、の三か所で開かれました。

第七に、行進参加者は、延べ八九二人、自治体職員の歓迎は一八五人、平和集会二七五人、計一三三二人となりました。全国通し行進者の西田重好さんは毎日笠木透さんの「平和の暦」を歌い、平和と戦争法反対を訴え、県内通し行進者の野村かよ子さんもほぼ全日程参加されました。

第八に、署名は、自治体の住民署名一四四三筆、行進の合間にする署名行動で二一八筆、合計一六六一筆です。募金は合計一九万七八八円でした。

第九に、非核石川の会の神田順一さんは、非核石川の会ホームページに行進の模様を毎日発信されました。

最後に、平和委員会の末友雅子さんにお菓子や、日替わりで冷たい手作りの食べ物差し入れていただき、行進で疲れた体が癒されました。

県内での行進距離は約一〇〇kmでした。梅雨入りしたにもかかわらず、雨の中の行進は能美市内の一日だけでした。多くの人たちのご協力により、二〇一五年国民平和大行進が成功したことを報告し、感謝の意を表します。(原水爆禁止石川県協議会事務局長)

**原水爆禁止国民平和大行進
県内通し行進に挑戦して**



県内通し行進の野村かよ子さん

野村かよ子

私は、まだまだ歩けると思うので、県内通し行進者募集のビラを見てすぐに申込みました。

毎年、金沢市役所から有松までの行進には参加していましたが、看護婦として働いていたのと、日頃の活動が重なり、通し行進者は初めてのチャンスでした。七四歳なので何処でも高齢者でした。

六月七日から二四日まで、時には道に迷って集合に遅れることもありましたが、行進には参加できました。羽咋から車で通いました。毎年行進する道らしいのですが、能美市の農協で、「白山市から川北町へ来る県道何号線」と聞いてもわかりませんでした。

川北町役場から反対に歩いてしまい、

白山市へ入っても表示もなく、暑い中を汗びっしょりになって遅れて到着したこともあり。帰りに川北温泉に入り、身も心もスッキリすることができ、週に一回の眼科医院の当直勤務も並行してやり遂げることができました。

県内全体を通じて言えることは、五月頃に行った自治体アンケートの結果と同じ対応だったのでびっくりしたということです。福島原発事故で次々に明らかになる事実をマスコミ報道で理解している自治体関係者はとても好意的でした。

しかし、珠洲市では平和行進の出発集会に当直の職員は来られないし、カンプも署名ありません。金沢市や小松市では行進団の人が市長のメッセージを読み上げるといって、残念な対応でした。

富山―広島コースの全国通し行進者の西田重好さんは出発集会や歓迎集会で「平和の暦」を元氣よく歌われたのが、とても印象的で素敵でした。ガンリン代はかかりましたが、知らない市や町の役所へも行くことができ、とても実りの多い一八日間でした。

(年金者組合)

全国通し行進者からのメッセージ

平和の暦 金沢から日本各地へ



全国通し行進の西田重好さん

西田 重好

私は毎朝、シティホテル金沢の朝食を食べながら、高校生が自転車ですべてきて学校に向かって行く姿を見送っていました。

さて、一二日間の石川県とのお別れの日がいよいよ明日やってきます。

一番印象に残っているのは、六月一日、卯辰山の『平和の子ら像』の前で、『憲法と共に生まれ、憲法と育った人』六八歳の男性が「この憲法を守りぬく」とおっしゃった。私は思わず「この笠木透さんの『平和の暦』はあなたのうたです。一緒にこのうたをうたって憲法九条を守り、このうたが日本中でうたわれたら、戦争法案は滅びると思っています」と言いました。

♪♪ 九条に生きた六八年

♪♪ これからもまた六八年

♪♪ 私たちの平和の暦

♪♪ 何がなくてもこれさえあれば

そして六月一五日、四高記念公園で「出前うたごえ」の人たちの音頭で約二〇〇人の人々による『平和の暦』のうたごえが高らかに響きました。

亡き笠木さんが「もつと日本中でうたえうたえ」と言っていると思います。四高記念公園でうたわれた『平和の暦』が日本中を駆けめぐるときつと戦争法案は葬り去られるでしょう。とても幸せな夜でした。

□市民公開時局講演会□

戦争法案をめぐるたたかいと展望

名古屋大学名誉教授 森 英樹



講師の森英樹さん

六月二十七日(土)午後、石川県教育会館大ホールで石川憲法会議が主催する市民公開時局講演会が開かれ、一六〇名が参加した。

菅野昭夫憲法会議代表委員が最近の安保法案をめぐる国会情勢に触れて開会の挨拶をし、続いて森英樹名古屋大学名誉教授が登壇した。

最初に「戦後七〇年を考える」ということで終戦の捉え方についてのドイツと日本の違いを、両国首相や天皇の発言を紹介しながら、加害責任に触れない日本政府の姿勢を浮き出させた。続いて安倍政権は「改憲」は志向しつつも、当面それができなかったため昨年七月の閣議決定から始まる一連の流れを、実質「壊憲」であると断じた。そして世論で反対運動が盛り上がる中、かつてない大幅会期延長までして法案の成立に固執する政権を批判した。

「戦争法案」の問題点として、

①「存立事態法」で「集団的自衛権」行使を容認する

②「重要事態法」で世界中どこでも「後方支援」を可能にする

③「国際平和共同対処事態」で国連とは無関係に米軍との軍事行動をとることを宣言する

④「例外なき国会の事前承認」の真相は穴だらけ

⑤六〇年にわたる政府解釈を一片の閣議決定で反故にする

と五点にまとめて明解に語った。

最後に法案阻止の展望について、今の反対勢力の中の個別的自衛権は認めるが集団的自衛権の行使は批判する勢力も含めて、日本国憲法の初心に立って戦争そのものを根底から否認する強い流れが支えていること、従って「戦後七〇年」の節目に登壇した「戦争法案」を戦争のリアリティから批判することが大事と語り、憲法学者や弁護士会、連合会長の発言などを紹介し、自民内部の批判的な声を呼び覚ますために議員の地元で「もうやめて」の声をぶつけられれば情勢は大きく変わる、そして分厚い世論で包囲しようと呼びかけた。

集会後、ぎりぎりのところで降雨もなく、参加者は会場前から堅町通りまでシュプレヒコールを響かせてデモ行進した。

(文責 非核・いしかわ編集部)



第30回全国総会で発言する神田事務局長

(7月4日 東京・主婦会館)

戦後被爆七〇年 核兵器廃絶 非核の日本実現の転換点に

非核の政府を求める会

第三〇回全国総会を開く

七月四日(土)、東京都内において非核の政府を求める会第三〇回全国総会が、二〇一五年NPT再検討会議の結果を受けて、また安倍政権が国会で強行可決をねらう「戦争法案」をめぐる重大な局面のもとで開かれた。

第三〇回全国総会では、①核兵器廃絶を求める世界の流れの到達点、今後の運動方向を明らかにすること、②被爆七〇年にあたり、日本政府の「核抑止力」依存をただし、被爆国として

あるべき非核・平和の方向を示すこと、
 ③「戦争法案」阻止をはじめ安倍暴走政治を打破する取り組みを強めること、
 ④国民運動の共同の重要性が増すもとで非核の政府を求める会の活動と組織を強化する方針が確認された。

NPT再検討会議の評価

今年のNPT再検討会議では最終文書の合意には至らなかったが、核兵器使用の人道上の影響への認識をひらげた二〇一三年〜二〇一四年のノルウェー、メキシコ、オーストリアの三回の国際会議の到達点をふまえて、再検討会議二日目に発表された「核兵器の人道的影響に関する共同声明」には一五九カ国が署名した。同会議参加国の八〇%強が署名したこの共同声明は、次回二〇二〇年の再検討会議に向けて核軍備縮小撤廃と核兵器禁止条約の交渉開始を実現する「確かな一歩」になる。

私たち市民社会の運動を強めることにより、今回の人道主義をベースとした一五九カ国共同声明に賛同した日本政府には、核軍備縮小撤廃の基本方針を明確化すること、とりわけ米国の「核の傘」―「核抑止力」依存をやめさせ、被爆国にふさわしい役割を果たさせていくことが重要である。

「違憲」の戦争法案は廃案に

衆院憲法審査会で与党推薦の参考人を含む憲法学者三人が戦争法案は「憲法違反」と批判し、歴代内閣法制局長官も相次いで「違憲」との見解を表明している。

戦争法案をめぐる最近の世論調査では、「違憲」「反対」がいずれも六割近くに達し、今国会での成立「反対」は八割に達している。

この国民世論と一致点にもとづく共同の輪をいっそう広げ、戦争法案を必ず廃案に追い込もう。

総会では多彩な報告が

総会出席者は約六〇人、一九人から多彩な報告があった。

- ・主な発言内容は次の通り
- ・NPT再検討会議の評価と市民運動の役割
- ・被爆七〇年 被爆者から世界へのメッセージづくり
- ・マージナル諸島政府による国際司法裁判所への提訴支援
- ・オバマ政権の国家安全保障戦略にみるアメリカの核戦略の変化
- ・戦争法案阻止を訴える「レッドアクション」
- ・宗教者の戦争法案に反対する国会包囲行動

- ・原発問題は「潜在的核抑止」と位置付けて積極的に取り組もう
- ・若者たちや青年層への働きかけ
- ・演劇人による意見広告「平和のために演劇がある。平和でなければ演劇はない」の取り組み
- ・模擬原爆「パンプキン爆弾」投下の真相にせまる活動
- ・非核自治体宣言の一〇〇%採択をめざす取り組み

非核平和行政の推進を

石川の会からは、「非核平和行政の推進をめざして」と題して次のように報告した。

- ・二〇一一年から集団的な編集体制を確立し、会報「非核・いしかわ」の紙面充実をはかり、会の存在価値を高めていること。
- ・二〇一二年から平和事業アンケート結果にもとづき、熱心に取り組んでいる自治体との懇談・取材を通じて、非核平和行政をなう自治体職員との接点をひろげる視点を重視していること。
- ・二〇一四年からホームページを公開し、県内の平和行政はじめ、国内外の非核・平和に関する情報ツールとして有効利用していること。

(事務局長 神田順一)

非核の政府を求める石川の会は、7月15日衆院平和安全法制特別委員会にて「平和安全法制整備法案」及び「国際平和支援法」の強行採決が画策されていたため、13日に内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、各政党本部、県選出国會議員等に抗議文を送付しました。以下、当会の抗議文を紹介します。

内閣総理大臣 安倍晋三 様

「違憲」の安保法案 強行採決に強く抗議する

2015年7月13日

非核の政府を求める石川の会

代表世話人 井上 英夫

代表世話人 五十嵐正博

安倍政権と自民・公明両党は国民多数の反対を押し切り、7月15日衆院平和安全法制特別委員会にて、「平和安全法制整備法案」及び「国際平和支援法」を強行採決する動きが報道されている。

「平和安全法制整備法案」は、政府が「存立危機事態」と判断すれば米軍支援のための武器使用（武力行使）が可能となる自衛隊法改正等の法案10本を一括したものである。「国際平和支援法」は、自衛隊が「いつでも」「どこでも」米軍が行う武力行使を支援する海外派兵法である。この二つの法案は、歴代の自民党政府が「違憲」としてきた集団的自衛権の行使を、昨年7月1日に安倍政権が容認した閣議決定を立法化したもので、海外での武力行使に道を開く明らかな「違憲立法」である。

安保法案は、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないよう」と、「戦争の放棄」「戦力の不保持」を誓った日本国憲法を改正手続によらずに法律によって実質的に改変し、「武力を行使する国」、「海外で戦争をする国」へと国の在り方を根本的に変えてしまうものである。このような政治手法は、国家権力を統制する立憲主義と国民主権に反するものであり、断じて容認できない。

6月4日の衆院憲法審査会で与党推薦を含むすべての参考人が安保法案は「違憲」と批判し、歴代内閣法制局長官も相次いで「違憲」との見解を表明している。同法案をめぐる全国各紙の世論調査では、「違憲」の回答がいずれも6割近くに達し、今国会での成立「反対」は8割以上（時事通信／6月）に達している。同法案は衆議院での国会審議を通じて、また全国各地での運動の広がりにより、反対世論は日増しに高まっている。

戦後・被爆70年の節目の年 私たちは、国の安全保障に関わる重大法案を国会での十分な審議なしに数の力で押し通そうとする安倍政権に強く抗議するとともに、広範な人々と連帯し、「違憲」の安保法案の成立を阻止する運動に全力を挙げ、表明することを表明する。

非核石川の会 リレーエッセイ

表現の自由について

相沢まり子

今年の一月早々、東京都美術館において「第四回九条美術展」が開催され、私は参加しました。九条美術の会は、岡部昭、川上十郎、窪島誠一郎、野見山暁治、水尾比呂志、故大野五郎、故佐藤忠良、故鳥居敏文、故西常雄の呼びかけで結成され、今年で一〇年となります。今回展は、画家、作家、美術評論家、研究者等、二七六名の参加となりました。

ところで、近年美術館では何が起きているか。

東日本大震災後の二〇一一年、目黒区美術館で予定されていた「原爆を視る展」は、福島原発事故を受け、不安を煽るという理由で中止。

二〇一二年、東京都美術館で、従軍慰安婦を主題とした彫刻、油彩画の展示は拒否。


二〇一四年、東京都美術館で、「現代日本彫刻展」は政治的メッセージを理由に美術館が作品の修正要求、一部修正。同年、福井県では、福井ハーモニーホールで反原発のメッセージがあるという理由で展示会出品申請を

拒否。これが表現の自由の美術館等の近況です。

そのような中で、今回東京都美術館で「九条美術館」が開催されることは、本当に凄いことだと私は思います。出品作品は伝統的な花鳥風月を描いた画、抽象画、インスタレーション、彫刻、彫金とさまざまですが、政治的メッセージを内包した作品も多く、東京都美術館の担当者は巡回を強め、九条美術館責任者は、かなり緊張した面持ちで会場を見守り、ピリピリとした感

は確かにありました。しかし、憲法九条の精神を掲げ、ここに集まった美術家の作品、美術評論家や研究者のメッセージのパネル展示は何といっても迫力があり、壮快な会場風景となっていました。そして、多くの方々の来場は、何よりの支えであり頼もしいかぎりです。

平和でなければ、表現の自由などありえません。戦争への道を開く時代に決して、してはならないと思いました。



非核・平和のひろば

二〇一五年原水爆禁止世界大会

海外から

二一か国一三一人が参加

今年の世界大会は八月二日から九日まで広島市と長崎市で、例年(七〇〇八〇人)を大きく上まわる二一か国一三一人の海外の政府代表や平和運動の代表が参加し開かれます。これは、被爆七〇年の節目であり、また核兵器禁止条約を求める国際世論の盛り上がりから参加希望者が殺到しているそうです。

NPT再検討会議をどう評価するか

世界大会は、再検討会議の結果をふまえて「核兵器のない世界」の展望と今後の方向を明らかにする国際的な議論の場となります。

再検討会議を、多くのマスメディアは最終文書ができなかったことで「決裂」「失敗」と報道しました。

最終文書が採択できなかったのは、中東非核化の会議をめぐり米英などの反対が直接の原因です。核兵器の廃絶を求める国は圧倒的に多く、核保有国と核の傘に依存する国の抵抗があります。追い詰められているのはそれらの国々です。

被爆七〇年を核廃絶の転換の年に

今年の世界大会は、核兵器依存国と核廃絶を迫る世論の力関係をどう発展させるのが課題に上るでしょう。

議論に期待したいと思います。

二〇一五年

原水爆禁止世界大会に

川本浩平事務局次長を派遣！

八月四日～六日に広島で開催される原水爆禁止世界大会に川本浩平事務局次長を代表派遣することで準備をすすめています。

派遣費用のご協力をお願いします

世界大会の派遣費用は約六万円必要となります。心苦しいのですが派遣費用の募金のご協力をお願い申し上げます。

なお、会費のご入金が遅れています方はよろしくお願いいたします。

同封の「ゆうちょ銀行振込用紙」をご利用ください。手数料の負担はありません。

非核の政府を求める石川の会
常任世話人会

詩人会議かなざわ「独標」より

コスモス畑の小さな駅

高橋 はる美

目蓋を開じると丘の向こうに
コスモス畑が揺れている

そこには小さな駅舎がある

駅舎の隣りには

給水塔も 転車台も

遠くからも見える

ちよつと前の昔に 大きな戦争があ
つて

父や兄たちと多くの兵士達を見送つ
た

同じ駅だ

けれども あの駅からは

勝利のどよめきも 歓喜の声も

聞こえない

いまは 細波のような

無言の歌が押しよせてくる

いま 地球の裏側の国では

テロとの戦いにその子供達までが

武器を抱えて戦っている

ブルカ※の奥から 憎しみを込めた

まなこ
眼をもつて

わたしの眼を射る

胸をつら抜く

ああ――

※イスラムの女性がつけるヴェールの一種

閉塞前線

喜多村 貢

黒い影が忍び寄って来て

肩をポンポンと叩いた

甘い夢とお金のムチ

どつちが好き?

思想信条が違うと言つても

黒い影は執拗に囁く

今日の自由と明日のパン

どつちを取る?

生暖かい風が急変して

意志薄弱の者には耐え難い嵐の

襲来

腐った正義と虚飾の幸福

どつちにする?

山が裂け転がり出す岩

その石と石がぶつかり合つて上げる

奇声

戦争と平和

実は一卵性の双児らしいぞ?

黒い影はいつの間にかマントを脱ぎ

正体を現わす

あれは救世主ムハンマド?

いやいや悪魔の化身ヒトラー?

歪んだ時代の扉

鍵が開かない

その向こうから聞こえて来るもの

ザックザックザック

ザックザックザック

あれは何の足音?

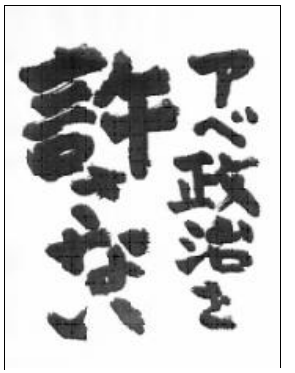
稲妻が走る

雷鳴がとどろく

*前号に掲載した「閉塞前線」に一部誤植がありましたので再掲しました。

《編集室より》

◎いま学生緊急行動 (SEALDs
|| シールズ) がすごい。金子兜太さ
んの揮毫した「アベ政治を許さない」
を七月一八日に掲げる全国的な取り
組みもある。しかし私の周辺では嵐の
前の静けさの如く、具体的な動きは限
定的だ。このギャップが私にはもどか
しい。先日、元判事の講演を聴いた。
判決文を書くときは「真実を求めてや
まない」と「余分な信念は持つてはな
らぬ」の二つの心根を持つて臨み、
熟した柿は自然に落ちる。如く、そう
いう結論|| 判決にならざるを得ない



7月18日、全国一斉に
掲げられた青目ポスター

ものとして書いたという。この時「余
分な」に意味ありという。もとより何
事にも過剰は慎まねばならぬが、心の
目を研ぎ澄ませ、その上でやらねばな
らぬ時は実行することが要だ。もどか
しさはあつても『いのち・くらし・平
和』は今、本気になって守る時である
う。(中)

◎「自由と民主主義のための学生緊急
行動 (SEALDs)」は、特定秘密
保護法に反対するSASP Lの後を
引き継ぐ形で、今年の五月三日憲法
記念日に設立された。インターネッ
トのSNSでその存在を知った若者
たちが全国各地でグループを拡大し
ている。SEALDsの中心メンバ
ーの奥田愛基さんの決意を紹介する。
『敗北のための美学』じゃない。た
とえ安保法案が衆院を通過しても、
活動をしばませてはいけない。安保
法案を本当に止めたいんです。延長
国会の会期末まで、毎週金曜に国会
前に集まります」(か)

「被爆者が描いた体験画展」⑩

石川県原爆被災者友の会 中田喜重

昭和二十年八月九日
午前十一時三十分
長崎市立山町近辺



畑の道路上の風景

赤ん坊を抱いたお母さん。この赤ん坊を預かりましたが、三日後に死に絶えました。兵隊さんは「お国のために死にます」と言って死にました。

昭和二十年八月十三日

午前四時
長崎市八千代町



ガスタンク

(一九七七年七月七日撮影)

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班

広瀬 勝子



《非核平和・行事予定》

月	日	曜	時	内容	場所
7	25日(土)~27日(月)			第57回自治体学校in金沢(詳細は主催者発行パンフを参照)	金沢市内各所
	26	日	13:00	「アオギリにたくして」上映会&ピースライブ(中村里美さん)	石川県文教会館ホール
	26	日	18:00	石川県原爆被災者友の会 被爆70年・会結成55周年記念式典	金沢ニューグランドホテル
	30	木	18:30	原水爆禁止世界大会壮行会・学習会	石川勤医協会館3階ホール
8	1	土	15:00	医療・福祉問題研究会総会記念講演(講師 伍賀一道さん)	金沢市近江町交流プラザ
	2	日	13:00	梅原司平with矢川光則被爆ピアノコンサートin能登	志賀町文化ホール
	2日(日)~4日(火)			2015年原水爆禁止世界大会・国際会議	広島市
	3日(月)~17日(月)			「原爆と人間展」	石川県庁19階展望ロビー
	4(火)~6日(木)			2015年原水爆禁止世界大会一広島	広島市
	5	水	13:50	戦争する国づくり stop! 戦争立法反対! 昼デモ	いしかわ四高記念公園
	6	木	12:30	核廃絶署名6・9行動	Mza前
	7(金)~9日(日)			2015年原水爆禁止世界大会一長崎	長崎市
	19	水	12:50	戦争する国づくり stop! 戦争立法反対! 昼デモ	いしかわ四高記念公園
	28	金	18:30	原水爆禁止世界大会報告会	石川勤医協会館3階ホール
9	6	日	10:00	いしかわピース9フェスティバル(特別ゲスト OZAKI UNIT)	野々市フォルテ
	17	木	18:30	原発をなくす石川県連絡会総会	金沢市近江町交流プラザ
	26	土	17:30	核戦争を防止する石川医師の会「9・26国連核廃絶デー」	金沢市近江町交流プラザ
10	31日(土)~11月1日(日)			2015年日本平和大会in富士山	静岡県御殿場市
11	8	日	14:00	福島支援・原発ゼロ・志賀原発廃炉を求める11・8石川県民集会	金沢市文化ホール2階集会室
* 毎週金曜日 18:30 どいね原発アピール行動 金沢駅東口					
祝日は休日としています					